

報告事項ク

平成28年度特別支援学校就労促進セミナーの実施について

平成28年度特別支援学校就労促進セミナーの実施について、別紙のとおり報告します。

平成28年10月19日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

平成28年度特別支援学校就労促進セミナーの実施について

特別支援教育課

1 目的

- (1) 特別支援学校の生徒の状況を事業所に周知し、障がいへの理解・啓発を促進する。
- (2) 本人、障がい者雇用・就労に関わる事業所、卒業生、支援者など、それぞれの立場から障がい者の就労促進について、現状や思いを発表し合い、参加者全員が障がい者の就労についての理解を深め、就労促進について考える機会とする。

2 実施概要

(1) セミナーの概要

東部地区	中部地区	西部地区
7月14日(木)	6月7日(火)	9月14日(水)
会場：鳥取聾学校	会場：倉吉養護学校	会場：県立米子養護学校
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意見発表 ・授業公開 ・講演 ・作業製品展示・販売 ・卒業生企業によるパネルディスカッション ・各企業と関係機関との相談窓口開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒による学校紹介 ・キャリアメッセージ ・喫茶サービス ・意見発表 ・授業公開 ・フォーラムディスカッション 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒によるアピール (生徒・卒業生メッセージ、合唱) ・作業製品販売 ・企業事例発表 ・授業公開

(2) 参加者数

	東部地区	中部地区	西部地区
事業所	73名 (61社)	49名 (44社)	50名 (42社)
関係機関	22名	63名	16名
保護者	6名	10名	56名
その他	82名	10名	13名
合計	183名	132名	135名

関係機関…労働局、ハローワーク、福祉関係部署 等

その他…一般入場者、生徒、小中学校及び高等学校教職員 等

3 成果等

実際に生徒の活動や思いに触れることが企業関係者や関係機関等への理解・啓発につながっている。また、これまでの取組の積み重ねや関係機関等との連携により、昨年度よりもセミナー参加企業が増加し、企業より実習や

雇用等の打診があるなど雇用機会拡大につながっている。

<参加者の感想より>

- ビルクリーニングの清掃の手順が身につけて「最後まできれいに掃除する」という心構えが見受けられ、良かったです。公開授業は、たくさんの人のおられる中、緊張されたことと思います。仕事のチェックも見落としのないよう気を配っておられ、終了した時点で、参加者全員が拍手されました。勉強になりました。(東部)

- 働くことの意欲、職場での問題等、実際の声聞かせていただき、みなさんの気持ちがストレートに伝わってきました。(東部)

- 弊社は170名の製造業で3名の障がい者（うち1名聴覚障がい者）がいるが、最低でももう1名は聴覚障がい者を、と考えています。きょうは、募集させていただく上で大変参考になりました。(東部)

- 健常者以上の働く意欲を感じました。自分の長所・短所を堂々と発表していて立派だと思った。(中部)

- 障がいをもたれた方が企業の仕事内容に合わせていくのではなく、障がい者個々の能力を把握して柔軟に対応していく力をもつことがこれからは必要なのだと思えて考えさせられた。(中部)

- 現在、法定雇用率は達成しているが、企業の責任として障がい者の雇用を拡大するべきであると思うし、障がい者の中にも、車好きで意欲のある人もいると思うので、検討していきたい。(西部)

- 自分の意見をしっかりと前で発表できていて感動しました。これから子どもが職場実習に初めて入りますが、実習をしていくうちに自分に合った就職先が見つかればと思います。合唱もみんな大きな声できれいに歌っていて良かったです。手芸班で作られた製品を買わせていただきました。大切にします。(西部)

- 中学校の教員です。将来の就労のイメージを持ってもらえたらと思い、中3のお子様の保護者と参加しました。18歳で社会参加・自立を目指して、現場実習を通して、企業の協力を得ることで子どもたちが成長していく姿を垣間見た気がしました。中学校でも、将来をイメージして進路選択・決定につなげていく支援ができたらと思いました。(西部)